

一宮町長  
馬淵 昌也

先般、一宮町在住の稲葉玲王選手が、2024年パリ五輪サーフィン競技出場権を獲得されました。おめでとうございませう！一宮町長として、町民の皆さまと一緒に、心よりお祝いを申し上げます。大会での輝かしいご活躍を、心からご期待申し上げます！

稲葉選手は、これまでのご活躍により、すでに日本サーフィン連盟の決定により、五輪出場内定をしておられました。そして、去る2月25日にプエルトリコのアレシボというところで行われたISA（国際サーフィン連盟）主催のサーフィン大会に出場されたことにより、規定を満たし、正式にパリ五輪出場権を獲得したものです。

皆さまご存知のとおり、稲葉選手は、2021年に行われた東京2020五輪のサーフィン競技に出場され、5位タイと大活躍された大原洋人選手の、一宮小・中学校での同級生でいらっしやいます。大原選手も稲葉選手も、一宮町で育たれた方です。人口1万2千人の一宮町から、複数の選手が世界最高峰の競技大会である五輪に選ばされる、というのは、本当に素晴らしいことだと思えます。奇跡的なことでは

ないでしょうか。心の底から嬉しく思います。

パリ五輪のサーフィン競技は、フランス領タヒチの、チョープーという有名な海岸で行われます。チョープーの波は、モンスター級の巨大なチューブが特徴です。波の変化の多い一宮町の各ポイントで鍛え、世界各地を転戦する中でさらに磨き上げた技を繰り出して、稲葉選手には、是非メダルを獲得して頂ければと存じます。7月27日から8月8日までの内で、波の状況を見ながら4日分の試合が組まれるそうです。現地へ出かけて応援される方も、一宮で中継で観戦する方も、一緒に精一杯の声援を送りましょう！

五十嵐力ノアさんから私が伺ったところでは、釣ヶ崎の海岸は、乗りたくなる波がいつでも多く立ち、練習でも試合でも、充実したサーフィンができ、世界にそういうところはほとんどないのです、ということでした。そこで、一宮町には、世界レベルの優れた若手サーファーの方が多くお住まいと伺っています。お二人の偉大な先輩に伍して、若い皆さまにも、五輪を目指して、全力で挑戦して頂ければと存じます。